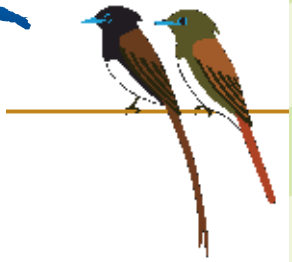
静岡県立静岡がんセンター
地域医療連携だより

VOL.10

2025年
1月

やまびこ



病院長あいさつ

静岡県立静岡がんセンター　病院長
小野　裕之

皆さま、あけましておめでとうございます。

前回のやまびこで、「春の訪れとともに、ときに夏日となる陽気もあり、今年も猛暑なのかもしれないと、北海道生まれの私はやや不安ではあります。」と記述いたしましたが、案の定、昨年は大変な猛暑でしたね。私のふるさと、釧路ではサケの漁獲量が激減し、なぜかブリがとれるようになったそうです。11月に入っても少し寒くなったかと思ったら、また夏日になったり、と四季の国である日本から季節が失われていくような心寒さを感じます。冬になって例年どおりの寒さがやってきたことに少しだけほっとしております。皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

地域医療機関・介護施設との連携のため、昨年10月３日に地域連携交流会を開催させていただきました。多くの皆さまに参加いただきありがとうございます。本会はコロナ禍で中止しておりましたが、一昨年より再開しました。昨年は、さらなる連携強化に向けて当院の医療連携室の担当幹部に寺島副院長、室長に平嶋婦人科部長、副室長に松見師長を新たに任命し、皆さまとの交流を盛んにすべく努力しました。まだまだ改善点は多数あると存じますが、当院のスタッフも多く参加し、皆さまと直接お話することができてとても有意義であったと感じています。

やはり「顔の見える関係」というのは大事で、私たちからのお願いも、皆さまからの要望も、相互の連絡がとりやすくなると思います。個人的にも20年余前、開院時に一緒に働き、その後結婚退職された看護師さんが、会場にいらしてくださり、訪問看護ステーションで頑張っていると伺い、懐かしく、またほっこりとした気持ちになりました。がんセンターも皆さまも、ともに同じ地域で医療・介護に携わる仲間として良い関係を築いていきたいと願っています。当院へのお叱りの言葉や、ご不満なことなど、医療連携室にお気軽にお伝えください。

本年も、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

もくじ CONTENTS

病院長挨拶…… P1
特集：アピアランスケア…… P2～3
部署紹介（患者家族支援センター）…… P4
診療科紹介（食道外科）…… P5
しずがん院内アート探訪…… P5
地域医療連携室からのお知らせ…… P6

特集

静岡がんセンターの アピアランスケア

Part 2

前回に続きアピアランスケアを特集します。
今回はアピアランスケアの実際と当院における取組についてご案内をいたします。

アピアランスケアの実際

患者家族支援センター長兼副看護部長　中島 和子（がん化学療法看護認定看護師）

アピアランスケア相談窓口の実際

静岡がんセンターでは、2023年12月患者家族支援センターにアピアランスケア相談窓口を開設しました。アピアランス（外見の変化）は支持療法の一分野でもあり、これまでも、治療が行われている部署（病棟、外来、化学療法・支持療法センター、放射線・陽子線治療センター）で、患者さんが外見の変化でお困りのときには対応していました。それに加え開設したアピアランスケア相談窓口は、より患者さんの状況に応じたケアが求められるときに活用されています。例えば、「スーツに合う帽子はどのようなものがよいか」、「眉毛の脱毛で、自然な眉毛の描き方はどうしたらよいか」、「通学や就業時の外見変化への具体的なケア方法」、「脱毛に対するシャンプーの選択」などがあります。現在、窓口の利用件数は約20件/月前後で、相談内容の上位は、①脱毛（頭髪＞眉毛＞睫毛）、②皮膚障害（皮疹、手足症候群、色素沈着など）、③爪障害（爪が脆弱になる、浮いてくる、爪の色素沈着、爪囲炎）となっています。

アピアランケア相談窓口では、以下のような物品を備えて対応しています。

〈ウィッグ〉

〈入浴用ストマ保護フィルム〉
〈人工乳房〉

〈メイク・ケア用品〉

アピアランスケア相談窓口と専門職種との連携の実際

アピアランスケア相談窓口では、来訪された患者さんの外見変化のお困りの内容に合わせて、乳がん看護認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、がん薬物療法看護認定看護師、がん放射線療法看護認定看護師など専門職種につなぎ、お困りの外見変化をその日のうちに支援できるようにしています。

外来では、化学療法・支持療法センター、放射線・陽子線治療センター等で治療中に相談を受けることができます。内服抗がん剤のみの患者さんでは、外来の看護師とアピアランスケア相談窓口の看護師とで連携し、外見変化の内容に応じた専門職種を紹介します。

アピアランスケア相談窓口の今後について

現在、アピアランスケア相談窓口では、すでに社会と接点ともっている外来患者さんへの支援が多くを占めます。一方、初回治療の患者さんでは、初めての治療による体調面の変化に備えることが主体となりますが、その後、退院時やいざ復職・復学といったときに外見変化に対する困りごとが現実的となってきます。自分

のイメージが今までと変わっている状況で社会に戻ることに不安を感じたり、外見変化をどのようにカバーするかなど、具体的な方法を持ち合わせていない場合、心理的・社会的な問題を抱えることが多いようです。今後は、入院中や休職中の患者さんなどが、社会に戻っていく少し前から相談依頼の範囲を広げていけるように、アピアランスケアの理解を広げていきたいと思います。

〈院内のアピアランスケア関連施設〉

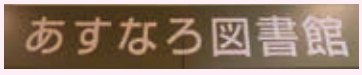
・美容室「こもれび」

静岡がんセンター本棟１階にある「こもれび」では、美容技術全般以外に髪や頭皮に関するご相談、ウィッグの試着・ご相談などへの対応を行っています。店内は治療中でも人目を気にせずご利用いただけるよう個室になっています。

肌にやさしい脱毛時用の帽子や医療向けウィッグ、おしゃれ用ウィッグ、ウィッグ関連商品や外見ケア商品の紹介も行っています。

副作用による脱毛などで不安になっている患者さんが安心していただける環境や、癒しの場であり続けられるよう、患者さんやご家族に寄り添い、「笑顔あふれる環境」で運営しております。

・患者図書館「あすなろ図書館」



本棟１階にある「あすなろ」では、がん治療に関する図書の貸し出しだけでなく、脱毛時用の帽子・キャップや永久気管孔保護用のバンダナネックカバーなどアピアランスケア関連商品の見本を展示し、患者さんが自由に手に取りやすいように工夫しています。

また、「外見の変化」に起因する身体的、心理的、社会的な悩みや苦痛を軽減させるため、さまざまな症状に関する情報をまとめた冊子を配布し、患者さんやご家族の学びを支援しています。

併設する患者サロン「やまなみ」では、患者さん同士や医療者を含めた交流の場を提供しております。

機関誌「やまびこ」では、全２回にわたりアピアランスケアを特集しました。

静岡がんセンターでは今後もアピアランスケアの強化を図り、がんやがん治療によって外見が変化しても、その人らしく社会生活を送れるよう、患者さんを支えるケアを実践してまいります。

部署紹介コーナー

患者家族支援センター　センター長　中島　和子

2024年度患者家族支援センターでは、新たな取り組みを開始するとともにこれまで同様に患者家族センター各部門がバトンの受け渡しをしながら、連携を強めていきます。

地域医療連携室 副室長　松見しのぶ

地域医療連携室は、地域の医療関係者のみなさまから患者さんの診療情報を受け取り、当院外来受診までの患者対応を行っています。2024年度は、連携室に医師１名（婦人科兼任）、看護師２名、事務９名、委託職員４名が常勤し、患者さんによりよい医療やケアを提供するように努力しています。例えば、初診で来院される方の移動をお手伝いする必要がある、ご紹介いただく患者さんの診療科がわからない、どのような診療情報を追加資料とするか分からない場合等何でもご相談ください。患者さんの状況は、初診問診看護師長と情報共有し、患者さんに適切なケアを継続します。

バトンタッチ！

初診・入院支援室 室長　小熊　由美

初診・入院支援室は、専門診療科で診察を受ける前の初診患者さんに初診問診担当看護師が問診を行い、これまでの経過や心配事をお伺いし、外来診察がスムーズに行えるように支援しています。例えば患者さん全員を対象とした「悩み・負担・苦痛のスクリーニング」の実施、抗がん剤、放射線治療、全身麻酔手術、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）治療をされる方への治療後の生活を見据えた早めの準備、お手伝いなどを行っています。また入院前から、入院治療での合併症予防目的で看護師・栄養士・理学療法士・言語聴覚士・歯科衛生士による高齢患者さんのリスクスクリーニングと問題解決のための介入を実施しています。

バトンタッチ！

外来患者支援室 室長　久山　幸恵

外来患者支援室は、外来で診療を受ける患者さんとご家族の不安や悩みへの相談、治療に関する相談・支援をしています。診断時から患者さん・ご家族の悩み・負担・苦痛に応じて担当医・外来看護師・心理士など必要な職種と連携を図り対応しています。「医師に質問をしたいが、何を訊いたらよいかわからない」「治療の種類や方法を決められない」「治療によりつらい症状が続いている」「家族（子ども）に自分の病気のことをどう話したらよいか悩む」等、がん治療や体の症状に関する不安や悩みがありましたら、解決できる方法を一緒に考えサポートいたします。

バトンタッチ！

緩和ケア室（緩和ケアセンター）ＧＭ　鈴木　知美

緩和ケアセンターは、患者さん・ご家族が、病気を抱えつつもその人らしく過ごすことができるように緩和ケア専門の医師・看護師・薬剤師・心理士・相談員等がチームとなってサポートしています。例えば、治療開始前からがんと診断された患者さんの痛みや息苦しさなどの症状緩和、不安や不眠等のつらさへの対応を行っています。また地域のみなさまや患者さん、ご家族からの相談に応じて緩和ケア病棟のご案内、地域かかりつけ医との連携等も行い、その際に緩和ケア病棟入棟前に迷われている患者さん・ご家族の療養場所に関する意思決定支援を行っています。対外的には、静岡県全体の緩和ケアの向上のため各種研修会を企画・運営しています。

バトンタッチ！

在宅転院支援室 室長　藤井　真理子

在宅転院支援室は、患者さんとその家族が安全安心な自宅療養できるための医療や介護サービスを紹介し、担当部署毎の看護師が細部にわたり専門的な支援を行っています。この支援で大切にしている事は、地域のみなさまとの円滑な連携と情報共有、患者さんが社会資源を十分に活用できることをサポートすることです。このため、地域のみなさまと顔の見える合同カンファレンスを行うことに注力し、地域のみなさまとの情報共有においては、あらたにシズケア＊かけはしの実践的な利用準備を進めています。また、がん患者さんが社会資源を十分に活用すべく、介護保険の申請等をスムーズに行えることを目的に作成した動画を用いてサービス利用方法を説明しています。

～ 診療科の紹介 ～

食道外科（副院長兼食道外科部長　坪佐 恭宏）

日頃より診療連携で大変お世話になっております。

当院の食道がん患者さんは、ご高齢であったり、内科治療となる進行がんであることが多いのが現状です。併存疾患・社会的背景などによって治療が難しい患者さんにおいても、上手に治療することを心がけています。

手術においては、開院当初に掲げた『術後在院死を予防する』という目標は、20年間で在院死亡 0.2 %という結果を達成することが出来ました。近年では胸腔鏡手術・ロボット支援手術の割合は70%を上回り、より低侵襲な手術を提供出来ております。

ご紹介いただいた患者さんは、内視鏡治療や手術適応があるのは約1/4で残りの3/4は化学放射線療法や化学療法の適応です。診断のついていない患者さんや外科・内科いずれか分からない患者さんを食道外科宛にご紹介頂いても対応させていただきます。

食道がんの治療は複数の選択肢があり、患者さんに詳しく説明し、ご納得いただいたうえで決定されます。将来には医療技術や薬剤の進歩により新たな治療方法も開発され治療の選択肢が更に増えると思われます。医療者側と治療を受ける側の患者さん及び家族の協力が益々重要になってきます。今後も信頼関係を大切にし、治療成績の向上を目指して診療にあたらせていただきます。

また、がん診療におきましては早期診断・治療が肝要と考えます。飲酒・喫煙歴のある発癌リスクの高い患者さんへのがん検診受診の啓蒙や内視鏡検査の推奨が早期診断につながると考えます。貴院かかりつけの患者さんへのがん検診受診の啓蒙や内視鏡検査の推奨にお力添えをいただけますと幸いです。

今後とも何卒よろしくお願い申しあげます。

しずがん 院内アート探訪

このコーナーでは静岡がんセンター施設内外の建物、庭園、アート作品等をご紹介してまいります。今回は、沖縄美ら海水族館から、北海道～本州～四国～九州の各地を巡り、当センターにリレー展示されたジンベイザメのタペストリーをご紹介します。

当センター小児科は、沖縄美ら海水族館が提供する教育プログラムに参加しています。美ら海水族館のジンベイザメ「ジンタ」が飼育年数30年を迎えることから、全国の施設13か所を中心にジンベイザメのタペストリーをリレー展示しています。

11月５日～ 22日まで、ジンベイザメのタペストリーは静岡がんセンター本棟１階の陽だまりラウンジに展示しました。11月13日には、旅するジンタプロジェクトの一環として、水族館と病院をオンラインで繋ぎ、ジンベエザメについて学ぶ授業も開催しました。外来患者さんを中心に授業に参加し、画面に映し出される実際の飼育水槽の様子を見ながらジンベエザメについて楽しく学びました。

地域医療連携室よりお知らせ

1．交流会開催報告

2024年度は、10月３日に沼津市のプラザヴェルデで静岡県がん医療地域医療連会交流会を開催することができました。今年度の交流会は、当院外よりご参加いただいた方の人数は122名、当院内より参加した人数は113名、計235名で大盛況でした。

次年度も、ご参加いただくみなさまに静岡がんセンターを身近に感じていただける交流会を企画、運営いたします。楽しみにしていただければと思います。

勉強会の様子

乾杯･歓談

地域の皆さまと顔の見える関係作り

2．研修情報

・2024年度臨床腫瘍学コース

毎月、臨床腫瘍学コースを開催し地域の医療従事者の方々にも公開しています。

開催時間：18：00 ～19：30、会場：静岡がんセンター　管理棟４階　研修室１

◇詳細は静岡がんセンター総務課企画人材班　TEL：055-989-5222(代)までお問合せください。

日　時	テーマ	講師(敬称略)
1月31日（金）	がん治療に求められる支持療法と看護（仮）	認定看護師教育課程 副看護師長　麻生 咲子

・第11回がん患者を支える歯科衛生士のための講習会

日　　時：2025年１月19日（日）13：00 ～ 16：30（受付開始：正午）

開催場所：グランシップ 11階　会議ホール・風

対 象 者：県内に在住又は勤務の歯科衛生士等150名（先着順）

◇申込・お問合せ◇静岡県立静岡がんセンター HP（https://www.scchr.jp）から申し込み

編集後記

年の始まり、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今年は、十二支の巳年です。

「巳＝蛇」は脱皮をする様子から「復活と再生」を意味し、強い生命力や不老長寿の象徴として崇められてきました。この巳年にあやかり、コロナ感染症対策で失った生活環境を取り戻し、これで学んだ感染対策を強化した地域連携を目指してまいります。今年もよろしくお願いいたします。

発　行　静岡県立静岡がんセンター　患者家族支援センター　地域医療連携室
〒411-8777　駿東郡長泉町下長窪1007　TEL　055-989-5222(代)
発行責任者　地域医療連携室　副室長　松見　しのぶ